



写真で見る
日本人の生活

届ける 日本にほんのいろいろな配達はいたう

今回から、このコーナーでは、国際交流基金日本語国際センターが発行している日本語教育用『写真パネルバンク』シリーズを使って、初等中等教育機関で日本語を教える先生方がどのように日本人の生活を紹介できるかを提案していきます。また、文型、単語、漢字は、初級の学習者でも読めるようにやさしいものを選びました。初回の今回は、ますます便利になっていく日本の配達事情を写真やグラフと共に紹介します。

郵便 配達



郵便局の人は、赤い自転車やバイクに乗って、手紙やはがきや小づつみを配ります。家や会社に配ることを「配達」といいます。配達は月曜日から土曜日まで、1日に1回あります。配達する人を「郵便屋さん」とよぶ人もいます。

「毎日、ごくろうさまです！」

大きな新聞社は、朝と夕方の2回、新聞を作ります。朝の新聞を「朝刊」、夕方の新聞を「夕刊」といいます。新聞は、駅で買うこともできます。ほとんどの新聞配達の人、アルバイトです。

新聞 配達



毎度ありい！

ごくろうさま

出前

食べ物の配達「出前」といいます。出前のバイクは、後ろに大きい台がついています。出前は、電話をかけて注文します。食べ物を受け取ってから、お金をはらいます。日本そば、ラーメン、すし、ピザなどの出前があります。



前の家から新しい家へうつることを「引っ越し」といいます。日本の引っ越しサービスは、家の中での荷づくりから、新しい家に運びこむまでやってくれて、とても便利です。とくに三月と四月は、引っ越しサービスはとてもこんでいます。

引っ越しサービス

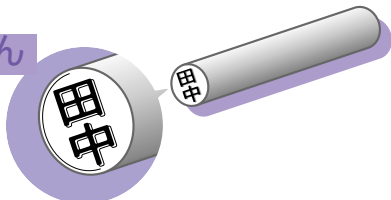
1つのところから、べつのところへ小さいものを運ぶサービスを「宅配便」といいます。宅配便は1976年にはじまりました。今では、郵便よりも人気があります。それは、宅配便の方が、はやくて便利だからです。

宅配便をたのむ時は、近くの店へ持って行ったり、宅配便の人が取りに来てくれたりします。お中元やおせいば、最近では重い旅行かばんやスキー、ゴルフ道具までが、宅配便で送られています。

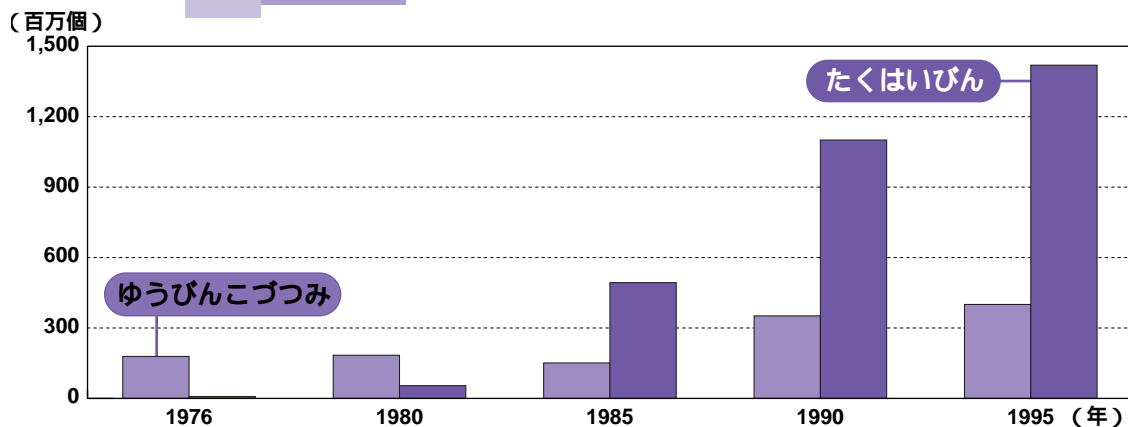


宅配便

印かん



宅配便ののび



資料提供：平成9年第46回
（総務庁統計局編）より作成
ヤマト運輸 経営企画本部
日本統計年鑑